

熱川温泉病院

宇野 恵理 (病棟師長)

功 績	回復期病棟の病床稼働率を大幅に向上させた功績
推 薦 者	坂田 友和 (医療連携室 室長)
推 薦 理 由	宇野師長が主体的に働きかけてくれたおかげで、他の医療機関からの紹介や救急搬送されてきた患者さんの当院への入院がスムーズに進めることができおり、とても助けられています。今年度の予算目標の達成に向けて早々に成果を出していますので、理事長賞にご推薦申し上げます。

内 容

当院6階回復リハビリテーション病棟は病床数41床。昨年度の稼働率は81.6% (平均33.5床/日) でしたが、今年4月の実績は92.8% (平均38.0床/日) で、昨年同月 (稼働率80.7%、平均33.1床/日) と比較しても大幅に増加しました。また、4月19日には41床満床を記録しております。

病棟師長の宇野は、今年度「どんな状態の患者さんも、とにかく受け入れて満床に近づける」との目標を立てました。病棟スタッフ全員に周知し、目標達成に向けた意識付けを行い、主治医と連携して転倒などのリスクのある患者さんに対しては、カンファランスにおいて、これまで以上、一層綿密な安全対策を立案したことで、多くの患者さんを受け入れることができました。

その結果、3月下旬より病床稼働が35～36床へ増加。4月に入ると更に37～40床へ増加し、5月になっても安定的に36～38床の稼働が続いており、順調に今年度の6階病棟における稼働率の予算目標値34床/日を上回っております。